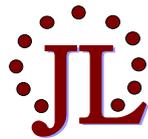


JLSK news



関西日本ラトビア協会ニュース vol.10

発行：2019年9月

編集：在大阪ラトビア共和国名誉領事館

関西日本ラトビア協会 事務局

大阪市北区梅田3-3-5 大和ハウス大阪ビル

★ 2015年度 ★

関西日本ラトビア協会 第7回理事会・総会 2015年6月16日 ホテルモントレ大阪

ゲストにノルマンズ・ペンケ大使はじめ神戸市より国際交流推進部松田部長・豊島課長・古賀映子係長、東京から加藤晴生日本ラトビア音楽協会専務理事、ウナ・ヴォルコヴァさんを迎えて85名のご参加をいただき、総会が開催されました。(内訳：ゲスト6名・理事18名・個人会員24名・法人会員28社37名)

総会では、ペンケ大使より東郷武会長へ長年の友好活動に対するお礼の言葉が述べられ、あわせてラトビア共和国国家勲章が授与されました。



【石橋理事長挨拶】

本日は多くの方にご出席いただきありがとうございます。また法人会員の方に多く加入いただき、おかげさまでこのような総会を開くことができました。重ねて感謝申し上げます。

皆さまの会費を使って、ラトビアからの留学生への奨学金授与を行いたいと思います。また 8 月末からはラトビアに産業視察のミッションを計画しています。ぜひ多くの方にご参加いただきますようお願いいたします。

引き続き関西日本ラトビア協会へのご支援をお願いして私の挨拶といたします。

【ペンケ大使から東郷前名誉領事へ勲章の授与の言葉】

今年の 4 月 2 日にラトビア共和国政府は前名誉領事東郷武氏に、日本とラトビアの友好親善について多大なる貢献を頂いたことに感謝の気持ちを込めて、ラトビア共和国国家勲章を授与させて頂くことを決めました。本日、私はラトビア大統領の代理としてこの勲章をお贈りしたいと思います。ありがとうございました。

【東郷武前名誉領事謝辞】

ペンケ大使、本日は東京からお越しいただき、また荣誉ある勲章をいただきありがとうございます。

私がというより、関西日本ラトビア協会の活動が評価されていたものだと思います。リガウッドジャパンの上野さん、元神戸動物園園長の権藤さん、神戸の雑貨屋さん SUBARU の溝口さんなど皆さんのご活躍があっただけだと思っております。

ラトビアは決して大きな国ではありませんが、過去に大きな苦勞がありました。ラトビアにはきらりと光るものがあると思います。文化的にも音楽的にも、またスポーツでもオリンピックでメダルをもらうほどのアスリートがいます。

まだまだ日本の方はあまり知らない国だと思います。これからも協会の活動を通じて多くの方に知っていただき、国際交流を深めていければと思います。新しい理事長の下で、会長として支えていきたいので引き続きご支援をお願いします。

【ペンケ大使講演(通訳ダナさん)】

協会の皆様、ご支援ありがとうございます。また東郷さん、おめでとうございます。

この半年間ラトビアは、EU28 カ国の議長国を務めてきました。その間ラトビアでは多くのイベントが行われました。3 つの大きなサミット、900 の会議、7000 人以上の観光客が来られました。その他にも、EU 本部のあるブリュッセルでもイベントを行いました。これらの歴史的なイベントが行われるなか、ラトビアは初の議長国として高く評価されたと思います。私の今期の目標は、政治、文化の訪問を行うことでした。

まず政治的な面、日本へ外務大臣が来日しました。関西も訪問し、皆様にもお世話になりました。ラトビアには、日本から外務大臣が来訪し様々な日本の文化などを教えていただき、また、日本のテレビの番組ではラトビアが紹介されるなど、日本とラトビアの友好交流にも大きな足跡を残せた年になりました。

2018 年にラトビアは独立 100 周年を迎えます。記念に色々なことをしたいと考えています。例えばラトビアの小説の日本語訳版を作るなど。過去に 3 冊しかありません。観光客も増やしたいと思います。私たちは今、新しい名誉領事を募集しています。またプロジェクトの提案も受け付けています。皆さんからも、ラトビアに日本の色々な情報を教えてください。いつでも大阪にやってきますので引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

【上野常務理事による乾杯】

ラブディアン（こんにちは）！ラブバツカル（こんばんは）！今年は、ラトビアの大統領が代わります。前の大統領はシラカバという意味の名前でした。ラトビアの国の木はオークです。シラカバ（オーク）なくしてラトビアの生活は語れません。冬はマイナス20度になるラトビア、暖を取るのはシラカバからです。1606年から国家政策として植林をしてきました。シラカバは70年で20センチの太さには大きくなりません。ラトビアは世界で一番、樹木を大事にする国民です。日本はじめ多くの国が、植林技術はラトビアを見習っています。そのような自然を大切にする国民性の国ラトビアは、素晴らしいと思います！東郷さんの叙勲、ラトビア、並びに関西日本ラトビア協会の発展をお祈りして、ウズベサリ！（乾杯！）



中締めは、正司常務理事



ラトビア共和国国家勲章

2014年度の主な事業報告

日付	内容
5月14日	石橋民生氏が在大阪名誉領事に就任
6月22日	夏至祭を祝う会を開催（東郷会長宅にて）
6月23日	神戸市・リガ市姉妹都市締結40周年記念イベント（神戸市）に参加
7月1日	第6回関西日本ラトビア協会理事会・総会を開催
8月29日	関西日本ラトビア協会会報（8号）を発行
9月1日～2日	神戸市・リガ市姉妹都市締結40周年記念イベント（リガ市）に参加
10月14日	関西学院大学にて、ペンケ大使の講演会に参加
11月17日	ペンケ大使を迎え、関西日本ラトビア協会理事会・独立記念懇親会の開催
1月10日	新年会を開催（東郷会長宅にて）
2月19日	欧州議会議員サンドラ・カリニエテさんが来阪
トピックス	法人会員枠を新設し、108社に入会いただきました 関西学院大学の交換留学生に奨学金の贈呈を行いました 協会ホームページを開設しました 在ラトビア日本大使館主催の日本語弁論大会へ賞品提供を開始しました

【収支報告書】（2014年4月1日～2015年3月31日）

（単位：円）

		今年度	前年度
前期繰越金		516,146	1,197,942
収入	年会費（個人）	423,000	152,000
	年会費（法人）	6,800,000	0
	総会等催事会費	339,000	514,400
	受取利息	456	198
	合計	7,562,456	666,598
支出	総会等催事支出	1,286,732	1,022,117
	留学生への奨学金	100,000	0
	ホームページ制作費・管理運営費	525,312	73,920
	交際費	72,124	23,087
	会報印刷代	159,840	229,270
	事務通信費	33,573	0
	雑費	169,417	0
	振込み手数料	3,780	0
合計	2,350,778	1,348,394	
次期繰越金		5,727,824	516,146

【関西日本ラトビア協会によるラトビア人留学生支援について】

毎年、ラトビア大学等から日本の大学へ留学生が来日しており、期間は半年から1年程度滞在しています。その中には国費の奨学金が受けられずに来日し、アルバイトをしながら学んでいる方もいます。

そういう方を協会で支援し、将来日本とラトビアの交流のキーパーソンになっていただくという主旨で、奨学金制度をスタートしました。

特にラトビア大学と交換留学の提携をしている関西学院大学とは、池田常務理事のご尽力によって大学の寄付制度を利用し、関西日本ラトビア協会の間で奨学金協定を締結し、未永く支援していく仕組みを作ることができました。

2015年6月 ラトビアの重要な祭事、夏至祭

宝塚の東郷会長邸にて、ラトビア協会の有志が集い夏至祭をお祝いしました。ラトビア大学のハイジマ先生はじめ留学生のアリナさん、アリサさんも参加し、ウナさん、オルガさん、レイニスさん、イゴールさん、ダービスさん、ダナさんたちと一緒に「ヤーニスの歌」をラジオ放送を通じてラトビアの皆さんに届けました。



2015年7月 関西学院大学に留学中のアリセ・ストガさんの奨学金授与式

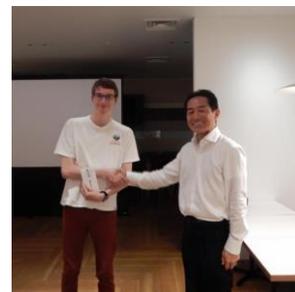
2015年度から関西学院大学と奨学金協定を締結しています。本奨学金は協会の寄付金を原資として大学で運用いただくものです。石橋名誉領事はじめ協会理事の皆さんと懇談したアリセさんは、やや緊張の面持ちで「日本文化やイラストレーションの勉強をしたいです」と、今後の抱負と感謝の気持ちを、しっかりした日本語で語ってくれました。ぜひ頑張ってください！



アリセ・ストガさん

2015年7月のトークサロン

冒頭に石橋名誉領事から留学生ダービス・ケムレルスさんに協会からの奨学金授与が行われた後、2012年公開のラトビア映画「ドリームチーム 1935」の上映会を開催しました。第二次世界大戦前、ラトビアのバスケットボール・ナショナルチームが欧州選手権にチャレンジ、苦難の末に栄冠を獲得するまで道のりを描いた作品で、ラストの選手たちを紹介するテロップでは華やかな優勝を遂げた後、戦争で翻弄されたラトビアの悲劇の歴史が伝わり胸と目頭が熱くなりました。



2015年8月 フレイベルガ元大統領ご夫妻来日アテンド

ヴァイラ・ヴィーチェ・フレイベルガ 元ラトビア大統領が「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム (World Assembly for Women in Tokyo, 略称:WAW! 2015)」に招かれ来日され、8月27日は東郷会長が京都を案内しました。このシンポジウムは、安倍政権の最重要課題の一つである「女性が輝く社会」を実現するための取組の一環として開催され、世界各国及び日本各地から女性トップ・リーダーが出席し、女性の活躍促進のための取組について議論を行いました。



2015年8月のトークサロン

来日中のラトビア大学准教授アグネス・ハイジマさんを招いて、日本語を学ぶ学生たちの事など興味深い話をいただきました。ゲストで同じく同大学講師の新井佳子さんにも参加いただき、日本に留学してくる学生を支援する上で大変参考になりました。また懇親会ではご結婚されたばかりの溝口明子さんを参加者一同でお祝いしました。おめでとうございます！



2015年9月 関西日本ラトビア協会の奨学生

早稲田大学に交換留学中のシグネ・ザハラカさんが、石橋名誉領事を表敬訪問。昨年リガでお会いし、一昨年は東郷邸の夏至祭にも参加してくれた日本文化を愛するラトビア大学の院生です。日本での就職希望が叶うよう健闘をお祈りします。頑張ってください！



2015年9月 日本語学習者訪日研修生を招待

関西国際センターで日本語研修の修了式と歓送会が開催され、ジャネテさん・イエヴァさんに修了証書が授与されました。初めての日本を体験した2週間の滞在を無事に終え明日帰国の途につきます。ジャネテさんの漢字とイエヴァさんのプレゼンテーションのうまさに2人の日本語力の高さに驚嘆しました。ぜひまた来日を果たして欲しいです。

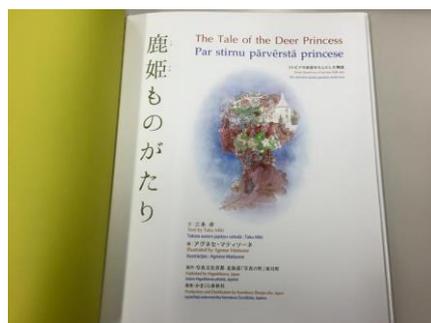


左:イエヴァさん、中央:ジャネテさん



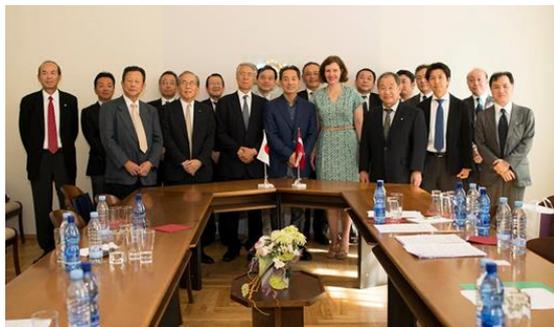
2015年10月 ラトビア民話の絵本を図書館へ寄贈

北海道の東川町は日本とラトビアの交流を深めるために様々な活動をされています。その一つとしてラトビア民話を絵本にして紹介されていますが、在大阪ラトビア共和国名誉領事館では広く地域の皆様にラトビアを知っていただく道標として、東川町が出版された二冊目の絵本「鹿姫ものがたり」を微力ながら大学や市町村の図書館に寄贈させていただきました。いつかどこかでお目に留めていただければ幸いです。



2015年9月のトークサロン

8月に行われた第2回ラトビア産業視察(17名)について、事務局甲斐さんから報告がありました。久しぶりのラトビア語講座も開かれました。関大院生の芝野さんはじめ初参加の方もいて盛況に催されました。



2015年10月のトークサロン

21名が参加したトークサロンは、前半はラトビア語会話、個々のレベルに応じて2グループに分かれて2人のネイティブスピーカーからレッスンを受けました。後半は協会の奨学生で、ITの専門学校で学ぶ青年ダービスくんが「私の日本での3年間」と題して、自身の感じた日本の良いところやラトビアとの違いに戸惑ったことなど体験談を日本語で一生懸命語ってくれました。日本での就職を目指してこれから頑張っ
て欲しいと思います。



2015年11月18日 97回目の独立記念日 ラトビア共和国の独立記念レセプションがラトビア大使館で開催され、関西日本ラトビア協会から上野さん、寺岡さん、池田さんらが参加されました。ペンケ大使、加藤登紀子さんを囲んで。



2016年2月のラトビアトークサロン

関西学院大学池田裕子さんの紹介で国際学部 Holger Robert Bungsche (ホルガーロベルトブングシェ) 教授に、EUの問題点、その中でのラトビアの立ち位置、歴史と未来について熱く語って頂きました。先生はドイツの方ですが、お父様が幼少期から永くラトビアに住んでおられ、ドイツ系バルト人としてソ連からの抑圧や独立そして自由を体験されたそうです。時代に翻弄された個人の話にとどまらず、欧州の歴史の一片だと感慨深くお聴きしました。



2016年3月 日本語弁論大会優勝者に航空券をプレゼント 恒例の在ラトビア日本大使館主催・日本語弁論大会が3月9日にラトビア大学にて開催されました。今回15回目の開催となり、参加者は14名でした。昨年より関西日本ラトビア協会が第2部優勝者への賞品として「日本・ラトビア往復航空券」を寄贈していますが、その効果があり第2部参加者が昨年より増えて9名でした。第2部の優勝者は、大学1年生オルガ・ダニレンコさんで、流暢な日本語で「色の話」というテーマでわかりやすくスピーチを行い、審査員から高い評価を得ました。これまで日本を訪問したことはなく、独学で日本語を勉強されており、今回の賞品で日本へ訪問することを大変楽しみにされているそうです。また、第3位のアリナ・ウルブレウスカさんは、昨年関西学院大学に交換留学生として来日され、協会の皆さんとも面識のある方です。これからますます日本語に磨きをかけていただきたいと思います。ぜひお二人とも、日本でお会いしましょう！



2016年3月のラトビアトークサロン 神戸薬科大学名誉教授 田中研治氏を迎え、古来から継承されている偉大な文化遺産「ラトビア民謡」についてご紹介いただきました。今回は12日の芦屋国際交流協会でのペンケ大使の講演を聴かれた大学生にも参加いただき、ラトビアに対する関心の高まりを感じました。田中先生のお話も大変興味深い内容で、皆さんの要望により来月も、続きのお話をお聴きすることになりました。



2016年3月 レイニス・ウードリスさん送別会開催

関西日本ラトビア協会主催の「ラトビアトークサロン」で講師としてお世話になってきたレイニス・ウードリスさんが、大阪大学大学院での留学を終えられ、この春ラトビアへ帰国されます。東郷会長ご夫妻はじめ協会の有志が、大和ハウスの長浜ロイヤルホテル（滋賀県長浜市）に集り、これからのラトビアを背負って立つレイニスさんの送別会を開きました。元気で再会することを約して。♪いつまでも たえることなく 友達でいよう 明日の日を夢みて 希望の道を♪皆さん、ご参加ありがとうございました！



★ 2016年度 ★

関西日本ラトビア協会 第8回理事会・総会 2016年7月12日 大阪マルビル



理事会風景



石橋理事長挨拶



来賓挨拶 外務省浅野様



乾杯 上野常務理事



来賓挨拶 大使館ダナ書記官



来賓挨拶 投資開発公社アリナ代表



来賓挨拶 神戸市国際交流部長 山村様



中締め挨拶 東郷会長



【前ラトビア大使多賀様講演】



【懇親会風景】



ラトビア大使館からダナさん、アリナさんを迎え、70名の方が参加して関西日本ラトビア協会の第8回総会が開催されました。引き続き行われた講演会では、昨年末まで駐ラトビア日本大使を務めておられた多賀様から、ご経験に基づいた大変興味深いお話をお聴きする事ができました。

1. 2015年度 事業報告

4月	関西学院大学とラトビア人留学生への奨学金協定を締結 アリセ・ストガさんへ奨学金支給
5月	関西日本ラトビア協会ホームページを開設
6月	第7回関西日本ラトビア協会理事会・総会を開催 「夏至祭」を宝塚・東郷会長邸にて開催 関西日本ラトビア協会会報（9号）を発行
7月	ダービス・ケムレルスさん（専門学校生）へ奨学金支給
8月	「日本語学習者訪日研修」にイエワ・グリプステさん（ラトビア大学）を招待 フレイベルガ元大統領ご夫妻来日アテンド 第2回ラトビア産業視察団（17名）がリガを訪問
9月	早稲田大学留学生シグネ・ザハラカさん（ラトビア大学）へ奨学金支給 クワクレ奏者ライマ・ヤンソーネさん来日公演サポート
1月	「新年会」を宝塚・東郷会長邸にて開催
3月	在ラトビア日本大使館主催「日本語弁論大会」優勝者に航空券を賞品として提供 レーニスさん送別会（長浜ロイヤルホテル）開催
その他	トークサロンを毎月開催

2. 収支報告書（2015年4月1日～2016年3月31日）

（単位：円）

		今年度	前年度
前期繰越金		5,727,824	516,146
収 入	入会金・年会費（個人）	314,000	423,000
	入会金・年会費（法人）	6,300,000	6,800,000
	総会・イベント等会費収入	547,000	339,000
	受取利息等	1,094	456
	合計	7,162,094	7,562,456
支 出	総会・イベント等開催費	1,679,436	1,286,732
	留学生への奨学金	1,624,860	100,000
	日本語弁論大会賞品提供費	194,614	0
	日本語研修生招聘費	329,071	0
	ホームページサーバー管理費	201,744	525,312
	会報発行費	216,324	193,413
	雑費・交際費	11,872	245,321
合計	4,257,921	2,350,778	
次期繰越金		8,631,997	5,727,824

2016年4月 リガ女声合唱団の大阪公演をサポート

23名のリガ女声合唱団コンサートが、豊中のアクア文化ホールで開催され、協会有志でチケット販売協力を行いました。



(リハーサル風景)

2016年5月

4月から筑波大学と早稲田大学にラトビア大学から交換留学で来日している4名に、協会から奨学金を贈ることになりました。写真右から筑波大学の加藤准教授、早稲田大学の山下さん、同イギヤさん、筑波大学ウナさん、(名誉領事)、アナスタシアさん、アグリズさんが、大和ハウス東京本社に石橋名誉領事を表敬訪問いただき、4名それぞれに将来の夢を語ってくれました。ぜひ頑張ってください！



2016年6月のラトビアトークサロン

来日13年、京都精華大学でコアな日本文化を研究するオルガ・アントノニコさんを招き、芥川が好きで日本に憧れていたママとアニメとの出会いがきっかけで日本語を学び、弁論大会で日本留学を勝ち取り現在に至るマイストーリーをお話いただきました。ラトビア大学から早稲田大学に交換留学中のエギアさんも参加してくれました。

また、関西日本ラトビア協会では、ラトビアからの留学生支援に加えて、日本の高校生にラトビアを体験してもらう文化交流事業をスタートすることになりました。今年はそのトライアルとして、今月末からの佐竹さんの約1ヶ月のホームステイを支援します。中学をアメリカンスクールで過ごし今年卒業した佐竹さんは、9月から長野軽井沢の高校 ISAK(インターナショナル・スクール・オブ・アジア)に入学する英語堪能な女子です。お母さんがラトビア語の先生という素敵なホストファミリーとぜひ素晴らしい思い出をつくってください！



2016年6月 東郷様邸での夏至祭

新しいラトビアの友人達も集い賑やかに楽しくお祝いしました。



2016年6月 ラトビア語教室をスタート

ラトビア語を真面目に勉強する会、第1回がスタート！お馴染みの方、新しい方、志もそれぞれに11名の方にご参加いただきました。新任のタービス先生は、難しいラトビア語を少しでも優しく伝えようと頑張ってくれています。



2016年7月

関西サイエンス・フォーラムと大阪国際フォーラム(会長 萩尾千里氏)の共催により、7月12日大阪マルビルにて『ラトビア共和国との交流会』が開催され、ラトビア投資開発公社アリナ・アシェチェブコワ日本代表が来阪。ラトビアの現状や製薬、機械製造、ITなど代表的産業の研究開発について紹介いただきました。アリナさんは大阪での本格的な講演は初めてだったそうです。関西日本ラトビア協会から竹村理事とダナ・アンティポヴァさんが参加し挨拶をされました。



↓関西サイエンス・フォーラムの会報(2017年1月発行)にアリナ代表の講演が紹介されました。

7月12日 大阪駅前マルビル グローバル下で、北欧ラトビアの科学技術の現状を紹介 ラトビア大使館からアタッシュを招聘 活発な意見交換

関西サイエンス・フォーラムは7月12日、大阪駅前
の大阪マルビルで、第42回異分野交流懇話会を開いた。
今回は、大和ハウス工業の協力を得て、ラトビア投資開
発公社日本代表、アリナ・アシェチェブコワさんを招い
て「ラトビア共和国との交流会」として開いた。

講演はアシェチェブコワさんがラト
ビア国の紹介と科学技術面でのラトビ
アの魅力、それに文化、観光面を含めて
解説した。講演の概要は下記のとおり。

ラトビアは北欧のバルトの真珠と呼
ばれる北海道くらいの面積、名古屋ぐら
いの人口を持っている国。首都はリガ、
2014年にユーロを導入し、ことしから
OECDに加入している。不凍港を持ちハンザ同盟の1つ
として栄えてきた。バルチック艦隊が出港した国、バル
チック海運指数という言葉を知れば日本人はよくわかる
だろう。文化、芸術に優れていて、アールヌーボーの建
築が世界文化遺産にも登録されている。文字が伝わる以
前からあった4行詩(ダイナ)では自然信仰だったこと
は日本と似ている点だと思う。

ラトビアの進学率は世界的にも高い水準にあり、世
界トップの高等教育を行っている。ロシアとの関係が
深かったが、40歳以上の人は70%がビジネスレベルの
英語を話せる。小さな国にラトビア有機合成物研究所
(IOS)、ラトビア大学物理学研究所(磁性流体研究)、



講演したアリナ・
アシェチェブコワ
さん

ラトビア木材化学研究所など、15の研究センターがあり、
国の手厚い補助による中小企業と大学との緊密な連携が
図られている。GDPの伸びも3%程度の高い成長を数年
続けている。

交通アクセスにも有利な地点にあり、IT環境は世界
最高レベルにある。日本との関係では、グリーンデックス
社の副作用の少ない抗がん剤が大腸薬品から販売されて
いる。また人間に安全なウイルスを用いたがん治療が世
界40か国以上で使われている。特産、こはくの成分に
血流促進、抗菌効果があり、バイオ医療製品としてこれ
から使われていくだろう。

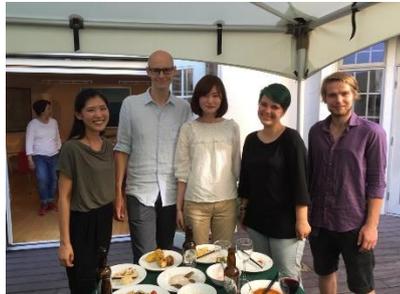
ガラス分野では無反射ガラスがバリなどの有名な博
物館で採用されている。シドラベ社の真空蒸着装置は
米NASAが導入しており、自動車産業で採用されてい
るマスポート社の3Dプリンター技術は最近話題のド
ローン開発にも使用されている。注目されるフィンテッ
クでは越境フィンテックのソリューションにとどまら
ず、ビッグデータ解析ではアジア、日本でもパートナ
ーとビジネス展開する予定。

講演後、参加者と活発な意見交換が行われた。

ラトビア投資開発公社は日本企業とのビジネス促進を
図っており、日本駐在のN・ベンケ特命全権大使はメッ
セージで「ことし6月にはかねての懸案であった日本と
ラトビアの2か国間での二重課税交渉が完了し、今後両
国間のビジネス活性化につながることを願っている」と
観光、ビジネスの交流拡大を期待している。

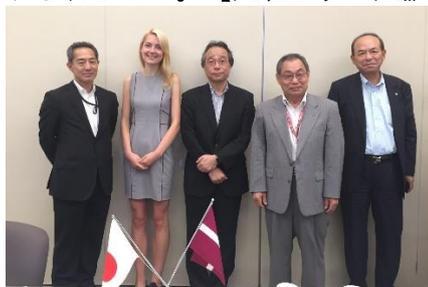
2016年7月 ラトビア大使館にて

筑波大学に留学中のラトビア学生たちを囲んで、石橋名誉領事はじめ大和ハウス東京本社スタッフがバーベキューパーティで懇親を深めました。あいにく大使は不在でしたが、ダナさん・アリナさん・中西さん・小林さん他大使館スタッフの皆さん、筑波大学加藤百合先生、Groglass社クリスティーナさんも参加していただき、大変楽しいイベントになりました。



2016年7月 Groglass社プレゼンテーション

ラトビアのハイテクガラスメーカーGroglass社シニアマネジャー、クリスティーナ・ストラウターネさんが来日され、昨日大阪にて大和ハウスグループ関係者向けにプレゼンテーションが行われました。参加者の皆さんは、ループルはじめ世界の美術館の展示に採用されている透明度の高いガラスの品質に興味を示しておられました。【大和ハウス大阪ビル2階会議室にて】



2016年7月 ラトビア語教室

第2回目の教室が開かれ10名の方が参加されました。この教室を開くにあたり、日本ラトビア音楽協会がラトビア大使館で長年続けておられるラトビア語教室を参考にさせていただきました。翻訳家の黒沢歩さんとビジネスマンのヤーニス・クルーミンシさんが先生をつとめておられ、ラトビア語でどんどん質問する先生にラトビア語で答えるというスタイルで、そのレベルの高さに驚きました。



2016年7月 日本セカンドライフ協会のイベント

ダナさん（協会事務局）が、日本とラトビアの生活習慣や文化の違いなどについて講演を行いました。



2016年7月

ラトビアからカメル合唱団の皆さん22名が来日しました。東郷会長ご夫妻はじめラトビア協会有志で歓迎しました。カメル合唱団は、宝塚室内合唱コンクールで総合1位という素晴らしい成績を収めました。大和ハウス大阪ビル22階にて、東郷会長ご夫妻はじめラトビア協会の有志でお祝いしました。



2016年8月のトークサロン

9月から軽井沢のインターナショナルハイスクールに入学する佐竹さんが、協会初の交流事業で6月末から約3週間、ラトビアでのホームステイ体験を語ってくれました。『楽しく、あっという間の3週間で日本に帰りたくなくなりました』とすっかり熱烈なラトビアファンに。また、今回1年間ラトビア大学に留学する阪大3回生木学直子さんも参加。懇親会で皆さんから激励をいただきました。



2016年8月

桃井かおりさん主演のラトビア映画「魔法の着物」の日本公開は来年の1月予定だそうです。同作品はラトビア出身のマリス・マルティンソンス監督の新作で、2010年の『AMAYA 雨夜 香港コンフィデンシャル』、2014年の『Oki - in the middle of the ocean』に続くコラボ3作目になります。



2016年9月 日本語学習者訪日研修

今年も2週間の予定で、りんくうタウン近くの関西国際センターに世界各国から日本語を学ぶ若者たちが集まります。ラトビアからはエカテリーナさんとエリーナさんが来日しました。二人とも初めての日本に目を輝かせていました。

【エリーナ・プリエダさんの休日】2週間の日本語学習者研修を無事に終えて9月21日に帰国したエリーナさん。18日には、関西日本ラトビア協会の植田さんと佐竹さんが奈良を案内してくれました。多少の雨があったようですが、予定通り、薬師寺、唐招提寺、東大寺を回ることができました。日本の素晴らしい文化遺産に触れたエリーナさんは「もっと日本語を勉強して日本に来たい」「ラトビア大学の日本語学科に進みたい」「ラトビアに帰りたくない」と大感激だったそうです。



2016年9月のトークサロン

鶴田宜江さんとラトビアの田舎のルッチおばあちゃんとの心の交流を描いたドキュメンタリー映画を見ました。懇親会には関学に留学中の学生も参加してくれました。また、タイミング良く、ペンケ大使よりラトビアのパンを頂きました。ありがとうございました。



2016年9月 石橋名誉領事が関西領事団ローデリック・ウォルス団長(オランダ総領事)と面談

関西には40以上の国の名誉領事と19名のプロの総領事がおられ、関西領事団を組織し様々な活動をしています。事務局のアンジーさんはリガの姉妹都市神戸で国際交流の仕事をされており何かご縁を感じました。



2016年9月

関西日本ラトビア協会のダナ・アンティポヴァさんが、芦屋市国際交流協会主催のイベント「作って食べよう世界の料理」でラトビア名物パンケーキやボルシチなどのラトビア料理を紹介しました。当日は芦屋や近隣の方22名が参加、ラトビアの魅力を広げる良い機会になりました。



2016年9月

4月から半年、筑波大学へ交換留学で来日していたラトビア大学のウナ・ザーレさんが帰国を控え、お礼にと石橋名誉領事を訪問。日本での生活報告と将来のビジョンについてお話をしました。名誉領事からは「是非、日本に戻ってきて日本とラトビアの架け橋として活躍してほしい」とのお話がありました。



2016年9月【SUBARUさんのトーク&ライブ】

神戸で、溝口明子さんの著書『持ち帰りたいラトビア』出版記念イベントに参加しました。自然を敬う心、四季を感じる暮らし、手作りを大事にすること、ラトビアの人たちの話はいつも懐かしい感じがします。ピアノで繊細なクアクレの音色も心にしみました。



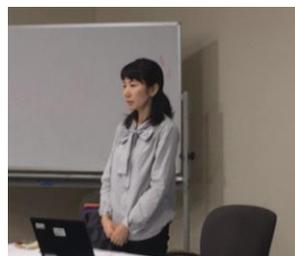
2016年10月

大和ハウス工業顧問の漆間巖氏（元内閣官房副長官）が日経新聞夕刊に連載中の「あすへの話題」にラトビアに関する記載がありました。漆間氏は1969年に警察庁に入られ、1980年から1983年まで外務省に出向、在ソ連日本大使館一等書記官を歴任されました。

<p>意味深な原曲</p> <p>「マーラは娘に生を与えたが、幸せはあげられた」という文句があること。「マーラ」はラトビア地方の聖母、「娘」はラトビアを意味し、近隣のスウェーデン、ポーランド、ロシアなどに支配された悲劇の歴史を「幸せをあげられた」と表現して、ソ連に駐在しながら、このような背景を知らなかったおれの不明を恥じたが、当時のソ連当局が原曲を何故発表禁止処分にしなかったのかも疑問として残った。</p> <p>現在ラトビアは独立を回復。NATOやEUに加盟して、ユーロも導入された。原曲の作詞家はこの現状をどう捉えているのか。マーラが与えられた幸せをつかめたのか。ラトビアを旅行しながら、この問いが私の頭の中を駆け巡っていた。</p>	<p>元警察庁長官 漆間 巖</p> <p>あすへの話題</p> <p>2016.10.25</p> <p>「ラは与えた」という曲名で世に出したものであった。ラトビア語で書かれた歌詞の中には、「マーラは娘に生を与えたが、幸せはあげられた」という文句があること。「マーラ」はラトビア地方の聖母、「娘」はラトビアを意味し、近隣のスウェーデン、ポーランド、ロシアなどに支配された悲劇の歴史を「幸せをあげられた」と表現して、ソ連に駐在しながら、このような背景を知らなかったおれの不明を恥じたが、当時のソ連当局が原曲を何故発表禁止処分にしなかったのかも疑問として残った。</p> <p>現在ラトビアは独立を回復。NATOやEUに加盟して、ユーロも導入された。原曲の作詞家はこの現状をどう捉えているのか。マーラが与えられた幸せをつかめたのか。ラトビアを旅行しながら、この問いが私の頭の中を駆け巡っていた。</p> <p>私がモスクワで過ごした1980年代の初めに、アラ・ブガチョフという人気歌手が、「百万本の深紅のバラ」を歌って大ヒットさせた。日本でも、加藤登紀子さんが、「百万本のバラ」という曲名で歌って有名になった。女優に恋をした画家が、家も財産も売り払って沢山のバラを購入し、彼女がいる宿舎の窓の下に敷き詰めるというロマンチックな歌であったと思うが、当時テレビやラジオでこの歌をよく聴いたものである。ロシア語の歌であったので、ロシア人の作詞・作曲と思っていた。</p> <p>ところが、昨年7月にラトビアを旅行した際、この歌に原曲があることを知った。それは、ソ連を構成する15の共和国の一つであるラトビア出身の作詞家と作曲家が、ブレジネフ体制末期の1981年に、「マーラは与えた」という曲名で世に出したものであった。</p>
---	--

2016年10月のラトビアトークサロン

ラトビア雑貨専門店「SUBARU」オーナーの溝口明子さんを迎え「ラトビアの秋」について語っていただきました。四季折々に自然と寄り添い暮らすラトビアの人々。忘れていた何かを思い出させていただきました。続きは、著書「持ち帰りたいラトビア／誠文堂新光社」で。



2016年11月

3月に在ラトビア日本大使館主催の日本語弁論大会で優勝したオルガ・ダニレンコさんが名誉領事館を訪ねてくれました。ラトビア大学の大学院生で仕事をしつつ独学で日本語を学んだそうです。初めての日本で、紅葉の名所を散策するなど「美しい国」日本を満喫したそうです。一週間ほどの短い滞在でしたが再来日して頂けることを期待しています。



2016年11月のトークサロン

ラトビア大学から関西学院大学に交換留学中のアルさんとドミトリーさんに日本に来るきっかけや夢を語ってもらいました。関西学院大学の春木さん・大西さん、今後トークサロンに講師として参加予定の豊原さん「神戸ゆかりの美術館」学芸員の金井さんにも参加いただきました。



2016年12月のトークサロン

独立間もない頃からラトビアで日本語を教えておられた福井さんに当時のリガの様子や日本大使館の立ち上げ時の体験など興味深いお話を聴きました。懇親会ではラトビアから帰国後すぐの上野常務理事が、ラトビア大学学長から託された東郷会長への感謝状を代理で授与していただきました。日本語学科のアグネス・ハイジマ先生が、これまでの留学生支援などラトビア協会の活動を学長に報告してくれたそうです



2017年1月のトークサロン

豊原さん、竹内さんのお二人に EU、ロシアの現状や歴史について興味深い話をさせていただきました。



2017年1月14日 東郷様での新年会

宝塚・東郷様宅にて新年会が開催されました。今年は新たにビルテさん、ダリアさんが着物でお点前を体験。お茶会・ビンゴ大会など賑やかに催され、美味しいぜんざいや、おでんもいただきました。



(左:ダリア、中:ダナ、右:ビルテ)

2017年1月10日

石橋名誉領事が神戸新春国際親善パーティに参加しました。神戸市の久元市長、関西領事団の皆さまと初春を祝いました。



2017年2月

「1：大阪」 藤井眞理子駐ラトビア日本国大使が名誉領事館を訪れ、東郷武前名誉領事、リガウッドジャパン上野慶三代表と、留学生支援や来年の独立100周年などについて意見交換しました。藤井大使からは先月、日本とラトビアとの間で署名された「租税条約」（二重課税を無くす合意）が、今後二国間の投資促進に寄与するうれしいニュースです、とご報告いただきました。

「2：東京」 筑波大学に留学中のアグリスさん、アナスターシアさんが帰国の報告に大和ハウス東京本社を訪ねてくれました。奨学金を授与いただいた名誉領事と協会の皆様への感謝の言葉を預かりました。一年暮らした日本では「富士山」の雄大な姿が印象に残ったそうですが、やっぱり慣れ親しんだ筑波山と筑波大学、それに「イーアスつくば」が一番思い出深いですと名残り惜しそうでした。お元気で！アタッ！



1：大阪



2：東京

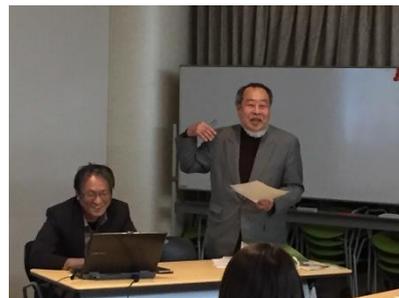
2017年2月トークサロン

神戸市で創作活動を行った芸術家たちの作品を所蔵する「神戸ゆかりの美術館」学芸員の金井紀子さんに、1975年、ソ連時代にリガと神戸が姉妹都市締結した翌年にリガの街角を描いた画家小松益喜の作品を中心に紹介いただきました。金井さんは実際にリガを訪れ小松画伯の足跡を辿ってこられ、ご自身のフォトライブラリーも披露いただきました。神戸で日本語を学ぶダリアさん、早稲田大学のエギアさん、関大のビルテさんも来てくれました。



2017年3月のラトビアトークサロン

兵庫教育大学の堀内孜さんをお招きし、豊富な現地訪問で研究されたラトビアの教育についてお話しいただきました。ロシアやEUとの関係やアイデンティティと多様性の中で揺れる現地の状況を大変興味深く拝聴しました。後半はご趣味の「ラトビア国立バレエ」について熱く語っていただきました。



★ 2017年度 ★

関西日本ラトビア協会 第9回理事会・総会 2017年7月28日 大阪マルビル

大阪マルビルにて第9回総会を開催しました。ペンケ大使が4年間の駐日大使の任期を終えられ8月に帰国されます。最後の総会の場で日本での思い出を語っていただきました。また協会の支援に対して石橋名誉領事へ感謝状をいただきました。帰国後もますますのご活躍をお祈りいたします。懇親会では宝塚少年少女合唱団の皆さんに可愛い歌声を聴かせていただきました。



1. 2016年度 事業報告

- ・第8回 関西日本ラトビア協会理事会・総会を開催
- ・ラトビアトークサロン開催 (8回)
- ・留学生向け/夏至祭・新年会 (宝塚・東郷会長邸)、及びBBQパーティ (ラトビア大使館) 開催
- ・ラトビアから来日した合唱団の支援 (4月リガ女声合唱団・7月カメール合唱団)
- ・日本語学習者訪日研修者を招待 (女性1名)
- ・ラトビア人留学生への奨学金 (男性3名・女性5名)
- ・日本語弁論大会 (在ラトビア日本大使館主催) 賞品協賛 (来日航空券)

【新規】

- ・ラトビア語教室再スタート ・ラトビアへの短期留学派遣 (高校生対象)

2. 収支報告書 (2016年4月1日～2017年3月31日)

(単位：円)

		今年度	前年度
前期繰越金		8,631,997	5,727,824
収 入	年会費 (個人) 入会6名 更新2名	66,000	314,000
	年会費 (法人) 98社	6,300,000	6,300,000
	総会・イベント等会費収入	874,000	547,000
	受取利息・雑収入等	17,068	1,094
	合計	7,257,068	7,162,094
支 出	総会・トークサロン等イベント開催費	1,136,243	1,679,436
	留学生への奨学金 (8名)	4,140,000	1,624,860
	日本語弁論大会賞品提供費	84,040	194,614
	日本語学習者訪日研修者招聘費	285,045	329,071
	ホームページサーバー管理費	178,200	201,744
	会報発行費	0	216,324
	ラトビア語教室	101,266	0
	ラトビア映画字幕作成費	299,578	0
	高校生短期留学事業	425,157	0
	雑費・交際費	83,529	11,872
合計	6,733,058	4,257,921	
次期繰越金		9,156,007	8,631,997

2017年4月のトークサロン

福井在住の歌人、紺野万里さんをお招きしました。2010年と2012年にラトビアで短歌の朗読会やコンサートを開催され現地の芸術家と交流を深められました。シリアやウクライナ大使を歴任された元外務省関西大使の天江さんも参加され、韻を踏む外国語の詩の表現と日本の短歌の関係など興味深い話題が提供されました。



2017年5月のトークサロン

ペンケ大使夫人ダツツェさんをお招きして、ご専門の建築をテーマにレクチャーいただきました。建築物が歴史の層(layer)のようにラトビア人、ロシア人、その他の民族が織りなした複層的な表情を持っていることがわかりました。ダツツェさんがプロデュースされた展覧会は京都工芸繊維大学でも開催されました。ダツツェさんは、リガ工科大学建築学科を卒業され、政府建設局にてラトビア国立オペラ劇場の改築にも携われた後、様々な要職に就かれ国際的に活躍されました。現在はラトビアの歴史・文化・建築の日本へのプロモーション活動に取り組まれておられます。



2017年7月 ラトビア映画「二人の旅路」(魔法の着物)が神戸でロードショー

愛する人を失くした男女が、すれ違いながらもめぐり会うおとぎ話。ケイコ役を桃井かおり、夫役をイッセー尾形が演じる。監督はラトビア出身のマーリス・マルティンソンス。ラトビアと日本の初の合作となる本作は“バルト海の真珠”と讃えられ世界遺産に登録された首都・リガとその姉妹都市にあたる兵庫県神戸市で撮影されました。



2017年7月 国際子ども囲碁大会にラトビア少年をご招待

宝塚市にて開催された「ライフ国際子供囲碁大会」にラトビアの12歳と13歳の2名の男子を協会からお招きしました。東郷会長の案内で関西棋院を見学、大阪城公園や奈良公園も観光し、真夏の関西を満喫していただきました。世界中から参加した子供達と囲碁を楽しみ、帰国前日は東郷会長宅にも招かれ、出発直前のサマースクール参加者2名とも交流できました。ご支援いただいた上野さん、植田さん、ありがとうございました。



2017年7月 リガでのサマースクール開催

参加者の高校生奥野くん、生田さん、佐竹さんの3名が関空から元気に出発し、無事ホストファミリー宅へ到着、8月10日まで様々な体験をしてきました





2017年7月27日 ペンケ大使送別懇親会開催（檀原ロイヤルホテルにて）



2017年8月

3月にラトビア大学で開催された第16回日本語弁論大会で優勝し協会からの賞品(航空券)の贈呈を受けて来日した、アンナ・クレーヴィナさんが在大阪ラトビア共和国名誉領事館を訪ねてくれました。ラトビアでプログラマーとして働くアンナさんの弁論大会テーマは「AIの価値観問題」という壮大なものだったそうです。ぜひゆっくりと聴いてみたいです。



2017年9月 日本語学習者研修にアデレさんを招待

2週間の予定でりんくうタウン近くの国際交流センターで開催の日本語学習者研修に協会が招いたラトビア大学のアデレ・グルンテさん。休日は雨の中、芦屋の谷崎潤一郎記念館や神戸市立博物館を協会理事の植田さんにご案内いただきました。神戸元町の雑貨屋さん SUBARU にも伺い店主溝口さんのクアクレでアデレさんが即興演奏をしてくれました。



2017年9月9日・10日 歌手 クリスマニスさん、堺で公演

堺シティオペラ公演でラトビア オペラ歌手クリスマニス・ノルヴェリスさんが久々に来阪されました。



2017年10月13日 日本ラトビア音楽協会 マスィー大使の歓迎会

創立13周年を迎えられた日本ラトビア音楽協会が、駐日ラトビア共和国特命全権大使として8月下旬に着任されたダツェ トレイヤ・マスィー大使の歓迎会を開催。大阪から東郷武前名誉領事が参加されました。



2017年10月18日 10月のトークサロン

10月のトークサロンは、ラトビア協会の奨学生 ビルテさんから、「日本の魅力」について、プレゼンテーションをして頂きました。様々な日本の歴史、文化に触れ、特に、寺社仏閣の細やかな造形に感動したとのことでした。また、9月に交換留学先の大学の所定の過程を無事修了したとのことで、修了証の授与式も行われました。



2017年11月 関西学院大学にて、クアクレの演奏会

関西学院ランパス記念礼拝堂で開催されたラトビア伝統楽器クアクレの演奏会には 70 名程の方が聴きにきてくださいました。関学の池田裕子さん(協会常務理事)が「礼拝堂にクアクレの調べは合いすぎて、恐ろしいほどでした。オズリンはヴァイオリンが得意だったので、感無量でした!」と喜んでおられました。大好評だったため、来年も同企画で開催されることになったそうです。



2017年11月23日 日本文化・歴史散策ツアー

ラトビア留学生を中心に海外留学生支援イベントとして、日本文化・歴史を学ぶ目的として、奈良県の吉野に散策ツアーに出かけました。座禅・葛餅作り体験、金峯山寺・如意輪寺の見学など、丸一日、文化・歴史を体験・観光してきました。留学生総勢 18 名 (ラトビア人 7 名、他 10 か国 11 名)



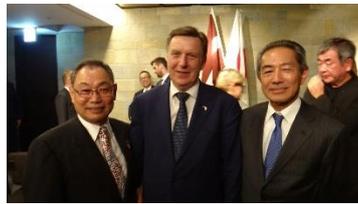
2017年11月 11月のトークサロン

11月のトークサロンは、神戸大学の竹内さんを講師に迎え、1ヶ月間のラトビア滞在時におけるダウガウピルスのサマースクールのお話を中心にして頂きました。竹内さんは、ロシア留学中に、ふらっと立ち寄ったラトビアの旧市街の美しさ、治安の良さに惹かれたとのことでした。



2017年12月7日・8日 クチンスキス首相 来日レセプションパーティに参加／首相を囲む会の実施

12月6日にクチンスキス首相が来日し、安部総理と首脳会談を行い、翌日の7日、大使館においてラトビア関係者を集めレセプションパーティが開催されました。関西日本ラトビア協会からも数名参加させて頂きました。また、帰国前夜の8日、ファイナルディナーを石橋名誉領事&関西日本ラトビア協会で開催し和やかに親睦を深めました。



(中央：クチンスキス首相)

2017年12月 12月トークサロン

12月のトークサロンは、琥珀ジュエリーショップ代表の丸川さんを講師に迎えて開催しました。丸川さんから、ご自身が、ラトビアとの関わりをもったきっかけ、琥珀に魅了された経緯等を写真や琥珀の現物を使ってお話して頂きました。トークサロン後の懇親会では、協会の奨学生として12月まで、関西外大で留学していたエレナ・ゲブレレさんに挨拶をして頂きました。初来日にも関わらず日本語が堪能で、4ヶ月間、公私ともに充実した生活を送れたとの事でした。



(エレナ・ゲブレレさん)

2018年1月14日 東郷様邸での新年会

東郷邸にて、新年会が催されました。今年は、ビルテさん、ストガさん、イゴールさんなど参加して頂きました。お庭で焼き芋を焼いて食べたり、ビンゴ大会、ラトビア監督映画「ルッチと宣江」鑑賞、そして溝口さんがクアクレを弾いて皆で合唱するなど、楽しい一日を過ごしました。



2018年1月 1月トークサロン

1月のトークサロンは、神戸大学で建築学を専攻されている鈴木先生と栗山先生を、講師に迎えて開催しました。

栗山先生は、昨秋、リトアニアの大学のスタッフ交流プログラムに参加後、隣国のラトビアを訪問。ラトビア市街地の建物と人が合わさる中で、どのように街が形成されているのかなど、先生独自の視点でのお話頂きました。

鈴木先生からは、リガ工科大学との学术交流の話、ラトビアと日本の友好を祈念するものとして幾何学模様の行灯を製作している話など、大学間を通じて精力的に活動されている話をして頂きました。



(左：栗山先生、中央：鈴木先生)

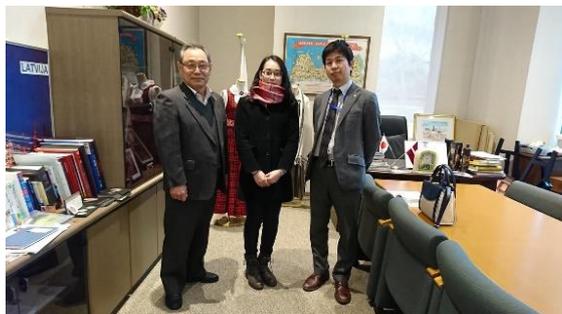
2018年2月9日 マスィー大使 トークサロンにて講演

ダツェ トレイヤ・マスィー大使をお迎えして開催しました。昨年7月に大使就任後、初の来阪、2月8～9日の日程で神戸市、大阪市、大阪商工会議所、関西学院大学へと表敬訪問され、神戸龍谷高校では生徒約40名に、ラトビアの歴史・文化のレクチャーをされました。そして、2日間の最終カリキュラムとして、トークサロンに参加して頂き、ラトビア経済の現状を中心にラトビアの魅力を語って頂きました。また大使から石橋名誉領事へのサプライズとして、クチンスキス首相からの感謝状贈呈がありました。先日の首相来日時に、石橋名誉領事が首相を招き親睦会を開いた事への感謝のしるしとの事でした。



2018年2月

昨年1年間ラトビア留学して今年1月に帰国した秋田国際教養大学の梶本さんが大阪に来られ名誉領事館を訪問されました。



(真ん中：梶本さん)

2018年2月26日 ベルグマニス防衛大臣を囲む会 実施

外務省から招聘され来日、外務省に行く前に姉妹都市である神戸市長への訪問のあと、マシー大使も参加し、石橋理事長、東郷顧問等、ラトビア協会のメンバーと懇親会を催しました。



(右から4番目：ベルグマニス防衛大臣)

2018年3月 3月トークサロン

神戸龍谷高校の國米さん、居嶋さんを講師に迎えて催しました。

2人は、今年の1月にリガの家庭にホームステイをしながらリガ文化学校で授業を受け、その模様を発表して頂きました。今回、異文化コミュニケーションの実施と英語力アップを目的として、治安が良く、英語も通じるうえ、リガが神戸の姉妹都市でもあるということで、ラトビアにしたそうです。最後に2人とも、またラトビアに行きたい！と笑顔で言っていたのがとても印象的でした。國米さん、居嶋さんのような学生がこれからもっと増えてくれれば喜ばしく思います。



★ 2018年度 ★

関西日本ラトビア協会 第10回理事会・総会 2018年8月29日 大阪マルビル

8月29日、関西日本ラトビア協会の理事会・総会・懇親会が行われました。ゲストに駐日ラトビア大使のマスィー大使、前駐ラトビア日本国大使の多賀様、神戸市国際部長の植松様を迎え、総勢70名もの皆様にご参加いただき開催されました。マスィー大使に「Latvia's Century」と題して、今年建国100周年を迎えたラトビアの歴史をお話しして頂きました。池田常務理事の乾杯のご発声で懇親会が始まり、フルート奏者 山村さんに素敵な演奏を披露して頂きながら、協会が支援している留学生クリスタ、アルタ、イエワも交え、協会会員の皆さんで親睦を図りました。中締めは 元宝塚市長 正司常務理事に務めていただき盛況のうちに終わることが出来ました。



(乾杯：池田常務理事)



(中締め：正司常務理事)

1. 事業報告 (2017年4月1日～2018年3月31日)

- ・第9回 関西日本ラトビア協会理事会・総会を開催
- ・ラトビアトークサロン開催 (10回)
- ・ラトビアへの短期ホームステイ実施 (高校生3名)
- ・日本語学習者訪日研修者を招待 (女性1名)
- ・日本語弁論大会優勝者へ賞品協賛 (在ラトビア日本大使館主催 (賞品：来日航空券))
- ・ラトビア人留学生への奨学金 (女性3名)
- ・留学生向け新年会 (宝塚・東郷顧問邸) 開催

【新規】

- ・宝塚市で開催された国際子供囲碁大会に招待 (男の子2名)
- ・ラトビア人を中心とした留学生を対象に「日本文化・歴史体験ツアー (吉野)」実施
- ・クチンスキス首相、ベルグマニス防衛大臣来日、親睦会を実施

2. 2017年度収支報告（2017年4月1日～2018年3月31日）

（単位：円）

		今年度 (29年度)	【ご参考】前年度 (28年度)
前期繰越金		9,156,007	8,631,997
収 入	年会費（個人）	37,000	66,000
	年会費（法人）	6,000,000	6,300,000
	総会・トークサロン等会費収入	994,000	874,000
	その他（受取利息・雑収入等）	16,077	17,068
	合計	7,047,077	7,257,068
支 出	総会・トークサロン等開催費	1,377,867	1,237,509
	留学生への奨学金（3名）	1,200,000	4,140,000
	日本語弁論大会賞品提供費（1名）	123,260	84,040
	日本語学習者訪日研修招聘費（1名）	307,045	285,045
	ホームページサーバー管理費	210,600	178,200
	イベント協賛・寄付金（ライフ国際子供囲碁大会等）	625,000	0
	ラトビア映画字幕作成費	0	299,578
	高校生短期留学事業費	1,209,688	425,157
	雑費・交際費	103,027	83,529
	手数料（振込手数料）	28,296	0
合計	5,184,783	6,733,058	
次期繰越金		11,018,301	9,156,007

2018年4月 『4月トークサロン』

ラトビアのミュージシャン DJ モンスタを迎えて音楽トークサロンを開催しました。モンスタさんは、20年ほど前から音楽を学んでおり、DJ、さらにヒップホップ、クラシックをたしなみ、特にクラシック・ジャズに深く興味をもち、ラトビア交響楽団とのコラボレーション、ラトビア楽器 クアクレとのコラボレーションを経て、ラトビアの伝統音楽の素晴らしさを体感し、もっと若い人達に、ラトビアの伝統音楽を伝えたい、聴いてもらいたい、とのことで、モンスタさんは、DJ音楽で次世代に伝える活動を続けています。モンスタさんの講話を聞いた後、ミニコンサートを開いて頂きました。



2018年4月19日 『ラトビア、融合の建築展』

ラトビア建国100周年を祝うプログラムとして、ラトビア建築展が神戸市役所で、駐日ラトビア共和国大使館主催、神戸市、神戸大学共催、ラトビア協会協賛のもと開催され、東郷顧問・権藤常務理事の講演（ラトビアと日本の交流の歴史）、マスイー大使の講演（ラトビア文化について）が行われました。



(左：東郷顧問、中央：権藤常務理事、右：マスイー大使と久元市長)

2018年5月 『5月トークサロン』

フルート・ピッコロ奏者 山村さんに「歴史を受けとめ、今奏でる」というテーマで、4月に引続き、音楽トークサロンを開催しました。

山村さんの音楽との出会い、東欧の地で音楽を学んだ事などをお話し頂きました。山村さんは、それら全てを踏まえ、音として奏でているとおっしゃっていました。お話の後、ミニコンサートとして、フルート、ピッコロでそれぞれ曲を披露して頂きました。



2018年6月24日 『夏至祭（東郷邸）』

6月24日に東郷顧問のお宅にて夏至祭を催しました。浴衣・民族衣装を着たり、歌を歌ったりとみんなで夏至祭を満喫しました。また、この場を借りて本年度奨学生であるアルタ、イエワ、クリスタの奨学金授与式を行いました。



(左：アルタ、真ん中：イエワ、右：クリスタ)

2018年7月4日～11日 『ラトビア訪問』

7月4日～11日、関西日本ラトビア協会主催で有志を募り、石橋名誉領事、そして、前名誉領事の東郷顧問を中心に、ラトビアをメインに北欧（スウェーデン、エストニア、フィンランド）訪問ツアーを実施しました。ラトビアでは、建国100周年に加えて5年に1度の「歌と踊りの祭典」の年でお祝いムードが町中にあふれているなか、在ラトビア日本国大使への表敬訪問、「歌と踊りの祭典」の鑑賞、そして関西ラトビア協会とゆかりのある方々との名誉領事主催の祝宴実施など、ラトビアを五感で感じることができ、とても充実した訪問ツアーとなりました。



2018年7月 『サマースクール（高校生）』

7月22日、ラトビア リガでのサマースクールに参加する高校生の佐竹くん、五十嵐くん、金野さんの3名が元気に出発しました。8月10日まで様々な体験をしてきました。

ラトビア：空港→馬乗り→カヌー→釣り→勉強→公園→ホームステイ先3家族勢揃い！



2018年7月27日 『日本語弁論大会優勝者 ジャネテさん来日』

第17回ラトビア日本語弁論大会が平成30年2月22日にラトビア大学で開催され、ジャネテさんが優勝されました。副賞として、協会からラトビア⇄日本の往復航空券を授与しました。7月27日に来日し、約1か月間、日本を観光されました。実はジャネテさん、2015年に日本語学習者訪日研修生としても、来日しています。日本が好きで再来を希望して、弁論大会に出場し、見事優勝し来日したそうです。



(写真右)

在大阪ラトビア共和国名誉領事館にて

・ラトビア大学で航空券授与式(藤井大使より)

出典：外務省ホームページ

2018年8月13日 『ダナ・ルダーカさん壮行式』

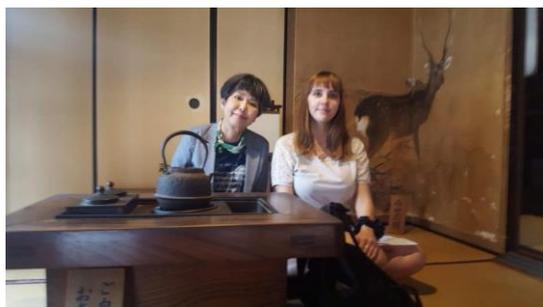
大使館にて 帰任されるダナ・ルダーカさんの壮行会が開催されました。ダツツェ大使が7年間の功績を讃え感謝の言葉を述べられたあと、新たなスタッフ、着任したばかりのエギアさん(ダナさん右隣)と在任一年になるエリーザさんを紹介されました。ダナさんは今後ラトビア外務省のアジア地区担当として活躍されるそうです。ありがとうございました！



(左：左から、ダナさん、エギアさん、エリーザさん、マスイー大使)

2018年9月 『日本語学習者研修生を招待』

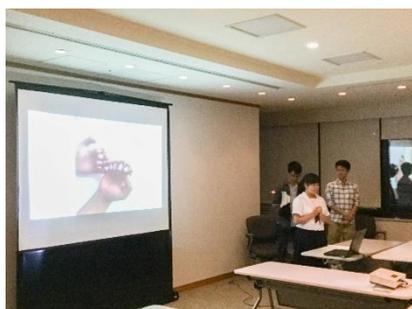
9月5日～19日の日程で、日本語学習者研修が開催され、協会からリガ文化学校のディアーナさんを招待しました。日本に昔から興味があり、学校の授業に加えYouTubeなどで、日本の番組を観て日本語を勉強したそうです。とても快活な性格で、休日には、理事の植田さんと一緒に、奈良観光を行い、また、ディアーナさんが通っているリガ文化学校と短期交換留学を行っている神戸龍谷高校の生徒とで情報交換を行い、また、上野常務理事とは、一緒に岸和田のだんじりの見学をしました。ディアーナさんは、来年の卒業後は日本の大学に進学したいと言っていました。是非、関西の大学に入って、協会にも顔を出してほしいと思います



2018年9月 『9月トークサロン』

9月26日のトークサロンは、7月22日～8月10日まで、ラトビアホームステイ（サマースクール）に参加した高校生、佐竹さん、五十嵐さん、金野さんの3人に、サマースクール活動報告をして頂きました。ホームステイ先では、ラトビア語講座や歴史の勉強し、外に出て、街並みや城を見学、そして乗馬・カヤック体験などラトビアの建築物、自然に触れ、また、ラトビア特産の食べ物もたくさん食べたそうです。ラトビアの文化・伝統に、見て触れて食してと、ラトビアを満喫し、とても有意義な時間を過ごすことが出来たようでした。

報告発表後、この3人に対し、ラトビアにホームステイしたことを忘れず、周りの友達にラトビアの事を伝えてほしいという思いを込めて、ラトビア事業の伝道師（エヴァンジェリスト）認定証を石橋名誉領事から手渡されました。



2018年10月 『10月トークサロン』

大学生の柴田さん、阿部さんの2人に、ラトビア大学での留学生活について報告して頂きました。ラトビアへの留学のきっかけは、2人とも「日本人が少ない国に行きたい」との事でした。柴田さんは、宗教・文化の違いなど、日々、新しいことを経験していくなかで、元オーケストラ部だったこともあり、ラトビアの伝統楽器クアクレに興味をもちレッスンを毎週受けるなど、ラトビア音楽にも触れていたようです。一方、阿部さんは、近隣ヨーロッパを周遊し、ラトビアだけでなくヨーロッパ諸国の文化・歴史を学び、現地の人々との交流を楽しんだようです。また、この留学中にカメラに、より深く興味をもち、自然が豊かで空気がきれいなラトビアの風景を数多く撮り、自然の美しさに感銘を受けたようです。2人とも、再びラトビアに行きたいと話しており、是非ラトビアと日本との交流のサポート役を担ってほしいと思います。



2018年10月30日 『EU各国セミナー』

兵庫EU協会と兵庫県国際交流協会の主催で催され、ダツェ トレイヤ・マスイー大使より「ラトビアの歴史・文化」、「EUにおけるラトビアの役割」などのお話を頂きました。また、セミナー後は大使を囲んで交流会を開催し、ウズマニープのよる演奏会が行われました



2018年11月16日 『ラトビア大使館 100th レセプション』

ラトビア共和国大使館にて建国 100 周年レセプションが盛況に行われました。ダツェ トレイヤ・マスイー大使より挨拶、そして日本ラトビア友好議員連盟会長 中曾根弘文議員の乾杯の音頭によりレセプションが始まりました。日本ラトビア音楽協会から合唱団ガイスマによるラトビア、日本、それぞれの国歌斉唱をして頂くなど、大使を囲んで、各関係者 100 名程度集まり懇親会が行われました。石橋名誉領事ご夫妻、ラトビア協会のメンバーも参加し、ラトビアに親交のある皆さんと 100 周年のお祝いをさせていただきました。



(マスイー大使へ建国 100th お祝品贈呈)

2018年11月23日 『日本文化・歴史散策ツアー』開催

2回目となる今回は、ラトビア人を中心として10か国の留学生総勢20名で、高野山観光ツアーに行ってきました。奥の院を歩き始め、豊臣秀吉、織田信長のお墓を抜け、弘法大師の御廟を参拝しました。お昼は蓮花院で精進料理を頂き、住職の計らいで本堂も見せて頂きました。その後、金剛峯寺、壇上伽藍と高野山を満喫しました。日本の文化・歴史を肌で感じて、もっと日本を好きになってもらえたらとの想いで企画しています。ツアーの参加者同士で新たな交流も出来たようで来年も開催を予定しています。



外国人留学生 限定
日本の歴史を学ぶ 『世界遺産・高野山観光ツアー』
 関西ラトビア協会イベント

聖山のように八雲の峰々に囲まれた上笠峰に広がる高野山は、弘法大師・空海が創った日本を代表する霊場・聖地であり、海外から訪れる留学生の憧れであるとともに、多くの人の信仰を集め、押し寄せています。歴史や宗教の面、仏教の歴史を学ぶ人の必読の書は、高野山が1200年前から存在し、あり、その魅力によっています。そんな高野山に訪れる留学生の文化や歴史を肌で感じてみませんか？ 留学先のごきん、ご参加をお待ちしています！

【日程】 11月23日(金・祝)

【集合場所】 南海電鉄『南海難波』駅 3F改札口
【集合時間】 7:45 (開場 18:00時)

【日程】
 7:45 南海難波駅 (8:00時) → 高野山駅 (9:33時) (南海バス特等・特急)
 10:00 奥の院 参拝
 15:00 蓮花院 (精進料理) 参拝
 16:00 高野山駅 (16:10時) → 南海難波駅 (17:50時) (南海バス特等・特急)

【参加費用】 無料 (交通費・昼食・拝観料別)
【参加人数】 15名程度

【お問い合わせ】 関西ラトビア協会 事務局 (074-721-1111)



2018年11月25日 『神戸ガーデンカフェ イベント』

兵庫県の須磨離宮公園にて「神戸で世界旅行！ラトビア！」というイベントが開かれました。ラトビアをテーマに、様々な国の音楽、料理や工芸品、雑貨、ワークショップが開かれ、ラトビアの伝統音楽を演奏するアンサンブル「ウズマニープ」がコンサートを行いました。我々はフォークダンスのワークショップを行い、ラトビア大使館のエギアさんが国の紹介をするなど、とても楽しいイベントとなりました。



2018年12月トークサロン

兵庫県国際交流協会の築田さんとラトビア協会事務局のダナさんに発表していただきました。築田さんには「ラトビアと日本の文化について」をテーマに講演をしていただきました。築田さんは今年の春まで2年間、在ラトビア日本国大使館で広報文化担当官として勤めており、日本文化をラトビアの皆さんに伝えたり体験をさせたりと精力的に活動をしておられた話をして頂きました。また、帰国して今の職場に着かれて、10月に「マスキー大使の講演会」を開催するなど日本に戻ってもラトビアとの交流を深める活動をされておりラトビアへの想いの深さを感じました。続いて、来年1月に異動するダナさんには、2006年にラトビアから来日して今日までの様々な活動、日本文化の体験、関西日本ラトビア協会活動などを当時の写真とともに話をしていただきました。トークサロン後の懇親会では、ダナさんの異動に伴い壮行会も兼ねて行いました。異動後も協会活動は続けることですので、これからも協会事務局としてラトビアと日本との交流のサポート役を担ってほしいと思います。



2019年1月トークサロン

ラトビア大学から筑波大学へ交換留学中のアルタさんとイエヴァさんに「日本での留学生活、について話をいただきました。

アルタさんは、今回の交換留学の3年前に国際青年育成交流事業でラトビア代表団の一人として日本を訪れており、再び来日できたことをとても喜んでいました。大学では勉強する事が多く日々遅くまで図書館に通っているそうですが、その忙しい中でも時間を見つけてはラトビア関連のイベントなど色々な所に行き日本を満喫したようです。その中でも香川では海外旅行者向けの四国のPR動画に出演したりと良い思い出もできたようです。

イエヴァさんは、忙しい勉学の中でも、神社に行ったり、近くの山に登ったりと、日本ならではの景色を満喫していたようです。その中でも田園の中に映える夕日がとても美しかったと言っていました。

アルタさんもイエヴァさんも、大学で言語クラブサークルに入っていて、そこでは日本の学生に加えて、様々な国の学生達もいて、一緒に言語の交流、言語の勉強、そして、更には各国の文化も学び、素晴らしい体験が出来たとの事でした。彼女達の留学期間は、3月で満了しますが、今後も日本とラトビアの交流が深まるような活動して行ってほしいと思っています。



2019年2月1日 『関西領事団 ガラディナーに参加』

【関西日本ラトビア協会】 事務局

2月1日、関西領事団150周年記念ガラディナーが帝国ホテル大阪で開催されました

関西地区の各国の領事、名誉領事、その各国領事館関係者・スポンサー、ご来賓として高円宮妃久子様も参加され、300名近くの参加者で賑わいました人間国宝 大槻文蔵氏による祝能、若きピアニスト 太田糸音さんの演奏に、各国の国をイメージした着物の展示、そして着物ショーも行われパーティに素晴らしい華が添えられましたラトビア共和国をイメージした着物も展示されており、とても華やかで、素敵な時間を過ごさせて頂きました





2019年2月28日 『オゾリニュシユ交通副大臣 講演』

カスパルス・オゾリニュシユ交通副大臣、そしてラトビアの陸上・海上輸送業界を代表する企業の代表の方々にお越しいただき、大臣より講演、各社代表よりプレゼンをして頂きました。マスイー大使も来阪され、講演会に参加していただきました。

一昨年の12月にはクチンスキス首相の来日、その翌月の1月には、安部首相がラトビアへ訪問されるなど、ラトビア、日本相互の関心は非常に高まっております。

そのようななか、オゾリニュシユ交通副大臣より、ラトビアの海上・陸上輸送の現状、そして将来の展望をお話しいただき、各社代表から、各々の会社のプレゼンをして頂きました。

ラトビアの経済成長率はEUの中でも上位に位置し、4%以上となっています。ラトビアは欧州、ロシアを結ぶ地理的な要所となり、今後、物流インフラ事業の更なる発展に、大きな期待が寄せられています。

講演会後の懇親会では、大臣、各社の代表、大使と、協会の皆さんで、懇親を深めることができました。



2019年3月 『3月トークサロン』

3月のトークサロンは、ラトビアと編み物が大好きな鈴木亜衣さんをゲストスピーカーに迎え開催しました。鈴木さんが、どのようにしてラトビアを知り、興味を持ったのか、また、実際ラトビアに行き、編み物（ラトビアミトン）を通じて体験した様々な事について、ご自身で作られたラトビアミトンを横に置きながら、お話いただきました。話をしている時の雰囲気、そして身振り手振りからミトン愛、ラトビア愛に溢れていて、皆んなの気持ちが温かくなったひと時でした。これから先もずっと、ラトビア愛を深めて欲しいと思います。



関西日本ラトビア協会会員一覧（敬称略 50音順）2019年9月現在

（個人会員）

明石恭治	榎本 勤	衣笠武彦	立岡 弘	中橋美穂	藤間良太郎	三宅康彦
朝本福穂	大國利雄	木下大洋	田中伸一	中村きさ子	藤本昌男	宮本正明
芦田雅行	大島 茂	木下武幸	田中立子	中山三喜子	藤本守孝	宮本菜穂
安達和彦	太田敏正	木村宗光	田中悠樹	夏目 剛	藤山かよ	物部健依
阿部弘	大槻恭正	桑 悦子	谷本瑞絵	成瀬康夫	藤原和之	森川彩子
阿部雅子	大西信幸	小泉公延	田野吉一	西内紘道	藤原秀之	桃井猛
荒木美眞	大野たか子	河野眞一郎	鶴田宜江	西野勝弘	古川岩男	八尾和美
有友美智男	大野美保子	権藤眞禎	寺岡志郎	西村 優	古田晴彦	安田 勝
池田裕子	大橋正孝	雑古晴弘	寺田昇司	野井一正	古海賢二	山口利幸
石原美生子	大原玲美	笹井幹男	東郷 武	野口末廣	風呂本武敏	山崎志野
石橋民生	岡 美文	佐々美汎	東郷久野	灰田昌美	堀田健二	山崎俊輔
市川勝斗	尾崎由佳	清水靖子	轟木裕子	白雪梅	堀 明文	山出和史
伊藤茂男	甲斐丈晴	下地章夫	富永章之	長谷川隆一	堀内 孜	山原一晃
今城孝司	金井雅孝	正司泰一郎	鳥尾二郎	濱田諭稔	本田龍一	山村有佳里
岩井香代子	金田直樹	莊 雅弘	中垣喬子	早川明弘	間崎泰光	湯上敬明
岩井二郎	家門 正	末田恵得	中島文子	平越國和	益田信行	横山晴貴
上北耕司	河崎圭亮	鈴木亜衣	長瀬博享	平田 大	松本 宏	吉村昭道
植田多江子	喜多一裕	住江六郎	長田 実	福村麻矢	三木保人	脇山廣三
上野慶三	木田美矢子	竹内大樹	長塚 徹	藤田千賀子	水谷隆之	渡辺範子
植村義昭	小巖 仰	竹村 肇	中西雄生	藤田凱三	溝口明子	

※上記 会員一覧は、現在連絡がついていない方も含め記載させて頂いております。ご了承の程よろしくお願ひ申し上げます。ただいま、会員名簿を整理しております。ご連絡をさせて頂いた際は、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

(法人会員)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
株式会社アサノ
朝日ウッドテック株式会社
株式会社朝日押捻子製作所
株式会社旭屋書店
株式会社石川製作所
株式会社イシモク・コーポレーション
株式会社伊藤園
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
稲畑産業株式会社

因幡電機産業株式会社
株式会社岩崎貞三商店
株式会社インターネットイニシアティブ
SMB建材株式会社
SCSK株式会社
SCSKサービスウェア株式会社
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
応用技術株式会社
大阪ガス株式会社
株式会社大塚商会

河村電器産業株式会社
株式会社木下カンセー
株式会社キョーライト
麒麟ビール株式会社
クマリフト株式会社
株式会社クラフト
株式会社構造計画研究所
コマツカスタマーサポート株式会社
三京化成株式会社
株式会社山水

サンスター技研株式会社
サントリーコーポレートビジネス株式会社
サン美術印刷株式会社
三洋工業株式会社
清水木材株式会社
株式会社ジャパンビバレッジホールディングス
昇信化成株式会社
日本製鉄株式会社
株式会社伸明
株式会社伸和エージェンシー

スターネット株式会社
セコム株式会社
株式会社ゼンリン
総合警備保障株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
ダイキン工業株式会社
株式会社大伸社
ガイドードリンコ株式会社
大日鋼業株式会社
大和エネルギー株式会社

大和ハウス工業株式会社
大和物流株式会社
大和リース株式会社
タカラスタンダード株式会社
チョダウテ株式会社
ツカ・カナモノ株式会社
都築電気株式会社
ディーエイチホーム株式会社
株式会社デザインアーク
株式会社東芝

TOTO株式会社
トランス・コスモス株式会社
株式会社南都銀行
日新製鋼建材株式会社
日鉄建材株式会社
日鉄物産株式会社
日本電気株式会社
日本アーツ株式会社
日本ノボパン工業株式会社
ニホンフラッシュ株式会社

日本マイクロソフト株式会社
株式会社ノザワ
株式会社ハウステック
株式会社PFU
フクビ化学工業株式会社
富士通株式会社
株式会社富士通エフサス
フルサト工業株式会社
株式会社フルタイムシステム
文化シャッター株式会社

株式会社マイティ
松本林業株式会社
株式会社丸加商店
株式会社丸国林業
丸紅木材株式会社
株式会社マルホン
株式会社みずほ銀行
みずほ信託銀行株式会社
株式会社三井住友銀行
美和ロック株式会社

株式会社メディアテック
ユタカインテグレーション株式会社
株式会社ユニフロー
株式会社LIXIL
菱電商事株式会社
YKK AP株式会社
渡辺パイプ株式会社

【編集後記】2018年、関西日本ラトビア協会は10周年を迎えました。ひとえに、協会会員の皆さまをはじめ多くの関係者に支えられ、ご協力頂いたお陰だと感謝しております。本当にありがとうございます。これから先も、小さいながらも一つひとつ活動を積み重ねていくことが、ラトビアと日本の友好を深める一助になるものと信じ、新しいことにもチャレンジしつつ活動を続けていきたいと考えていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。また、2018年8月に事務局長を、金井から、私、甲斐に引き継いでおります。引き続き、ご支援ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。(事務局 甲斐)